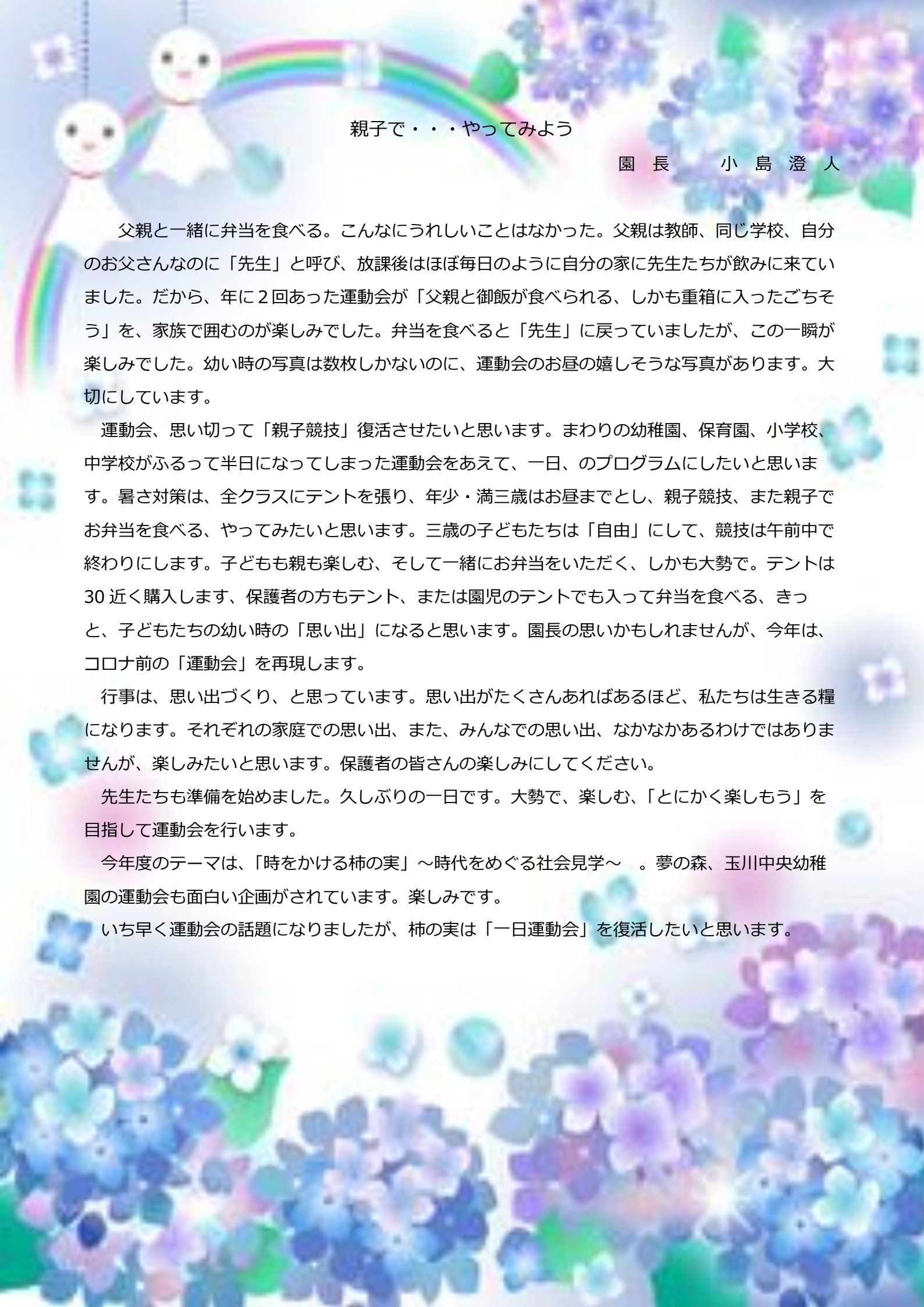




親子で・・・やってみよう

園長 小島 澄人

父親と一緒に弁当を食べる。こんなにうれしいことはなかった。父親は教師、同じ学校、自分のお父さんなのに「先生」と呼び、放課後はほぼ毎日のように自分の家に先生たちが飲みに来ていました。だから、年に2回あった運動会が「父親と御飯が食べられる、しかも重箱に入ったごちそう」を、家族で囲むのが楽しみでした。弁当を食べると「先生」に戻っていましたが、この一瞬が楽しみでした。幼い時の写真は数枚しかないのに、運動会のお昼の嬉しそうな写真があります。大切にしています。

運動会、思い切って「親子競技」復活させたいと思います。まわりの幼稚園、保育園、小学校、中学校がふるって半日になってしまった運動会をあえて、一日、のプログラムにしたいと思います。暑さ対策は、全クラスにテントを張り、年少・満三歳はお昼までとし、親子競技、また親子でお弁当を食べる、やってみたいと思います。三歳の子どもたちは「自由」にして、競技は午前中で終わりにします。子どもも親も楽しむ、そして一緒にお弁当をいただく、しかも大勢で。テントは30近く購入します、保護者の方もテント、または園児のテントでも入って弁当を食べる、きっと、子どもたちの幼い時の「思い出」になると思います。園長の思いかもしれませんが、今年は、コロナ前の「運動会」を再現します。

行事は、思い出づくり、と思っています。思い出がたくさんあればあるほど、私たちは生きる糧になります。それぞれの家庭での思い出、また、みんなでの思い出、なかなかあるわけではありませんが、楽しみたいと思います。保護者の皆さんの楽しみにしてください。

先生たちも準備を始めました。久しぶりの一日です。大勢で、楽しむ、「とにかく楽しもう」を目指して運動会を行います。

今年度のテーマは、「時をかける柿の実」～時代をめぐる社会見学～ 。夢の森、玉川中央幼稚園の運動会も面白い企画がされています。楽しみです。

いち早く運動会の話題になりましたが、柿の実は「一日運動会」を復活したいと思います。